

# TOOLS for MOTIF ES6/MOTIF ES7/MOTIF ES8 インストールガイド

## ご注意

- このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- 巻末にこのソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約が記載されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこのライセンス契約をお読みください。CD-ROMを開封すると、この契約に同意したことになります。
- このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- OMS™および は、Opcode Systems, Inc.の商標です。
- Adobe、Adobeのロゴ、AcrobatおよびAcrobatのロゴは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- SmartMedia™は、株式会社 東芝の商標です。
- その他、このインストールガイドに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- USB MIDIドライバーなどのアプリケーションソフトウェアは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。最新のアプリケーションソフトウェアは、下記URLからダウンロードできます。  
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/>
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

## CD-ROMについて

### データの種類

このCD-ROMには、コンピューター用のソフトウェアが入っています。ソフトウェアのインストールについては2ページ(Windows)、6ページ(Macintosh)をご参照ください。

このCD-ROMを、オーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。大音量により耳に障害を被ったり、CDプレーヤーやスピーカーなどが破損する恐れがあります。

### 対応しているメディアフォーマット

MOTIF ESで取り扱うことができるフォーマットは、以下のとおりです。

- ・MS-DOS形式のメディア
- ・ISO9660 Level 1形式のCD-ROM

これ以外のメディアフォーマットは対応しておりません(MOTIF ES本体は、ISO9660 Level 1形式のみ認識可能です。本CD-ROMはISO9660 Level 2で記録されているため、本体のUSB TO DEVICE端子を介したCD-ROMドライブからは直接データを読むことはできません)。

**NOTE** 読み込み専用のファイルをMOTIF ES接続のメディアにコピーした場合は、MOTIF ES本体上からは削除できなくなりますので、ご注意ください。

### データの対応OS (オペレーティングシステム)

このCD-ROMのデータは、WindowsとMacintoshに対応しています。WindowsとMacintoshではデータの内容やインストール方法が異なります。以下、各OSに対応した説明をお読みください。

- Windows →2ページをお読みください。
- Macintosh →6ページをお読みください。

### CD-ROMの活用手順

CD-ROMを開封する前に、巻末の「ソフトウェアのご使用条件」をお読みください。

- 1 ユーザー登録を行いません。(11ページ)
- 2 お使いのコンピューターで同梱ソフトウェアが動作することを確認します。(Windows 3ページ、Macintosh 6ページ)
- 3 ドライバーをインストールします。(Windows 4ページ~5ページ、Macintosh 7ページ)
- 4 ソフトウェア(Voice Editorなど)をインストールします。(Windows 5ページ、Macintosh 8ページ)
- 5 ソフトウェアを起動します。

これ以降の操作については、各ソフトウェアの取扱説明書(オンラインヘルプ/PDFマニュアル)をご参照ください。

**NOTE** PDFマニュアルをご覧になるには、コンピューターにAcrobat Readerがインストールされている必要があります(Windows 4ページ、Macintosh 7ページ)。

#### こんなときは

- ・USBドライバーの設定を変更したい.....9ページ
- ・ドライバーがインストールできない.....10ページ
- ・コンピューターからMOTIF ES6/7/8が正常に操作できない.....10ページ
- ・ドライバーの削除、再インストールがしたい.....10ページ

# Windowsユーザーの方へ

## CD-ROMの内容

Windows用のアプリケーションとコンテンツデータが以下のフォルダーに納められています。

フォルダー名	ソフト名	説明	
Acroread_	Acrobat Reader*	アプリケーションソフトのPDFマニュアルをコンピュータ上で閲覧できるようにします。	
Sq01_	SQ01 V2	本格的な音楽制作をお楽しみいただけるよう、オーディオミキサー機能を大幅に強化したシーケンスソフトSQ01のバージョンアップ版です。プラグインソフトのホストアプリケーションとしても機能します。	
AudioMixer_	(SQ01 V2)	オーディオのミキサーソフトウェアです。シーケンスソフトSQ01 V2のプラグインとして使用します。(単独では使えません。)	
Twe_	YAMAHA Wave Editor TWE 2.4.4	お持ちのコンピュータで波形データの編集ができる波形エディターです。	
Tools_	VEMOTES_	Voice Editor for MOTIF ES6/7/8	MOTIF ES6/7/8のボイスをコンピュータ上でエディットすることができます。
	MEMOTES_	Multi Part Editor for MOTIF ES6/7/8	MOTIF ES6/7/8をマルチ音源として使用する場合に、パートパラメーターやエフェクトなどさまざまなパラメーターをエディットすることができます。
USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver (Win98、Me用)	MOTIF ES6/7/8とコンピュータをUSB接続するのに必要なドライバーソフトです。	
USBdrv2k_	YAMAHA USB MIDI Driver (Win2000、XP用)		
Nldemo_	ソフトシンセサイザーのデモ*	Native Instruments社のVSTプラグインソフトウェア音源のデモ版です。「Nldemo_」フォルダーの中で、インストールしたいプラグインソフト名のついた実行ファイル(***Setup.exe)をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。	
DemoSong	ソングデータ	MOTIF ES6/7/8のデモソングデータです。SQ01 V2を使って再生できます。	

\*これらのソフトウェアは、ヤマハではサポートしません。

※ 上記のソフトウェアには、電子(オンライン/PDF)マニュアルが付いています。

※ Voice Editor for MOTIF ES6/7/8、Multi Part Editor for MOTIF ES6/7/8は単独のアプリケーションソフトウェアですが、Open Plug-in Technology (オープンプラグインテクノロジー)対応のソフトウェアのプラグインとして使うこともできます。詳細は、それぞれのオンラインマニュアルをご参照ください。

### ■ Open Plug-in Technologyについて

Voice Editor for MOTIF ES6/7/8やMulti Part Editor for MOTIF ES6/7/8は単独のアプリケーションソフトウェアですが、WindowsについてはOpen Plug-in Technology (オープンプラグインテクノロジー)対応のソフトウェアのプラグインソフトとして使うこともできます。

Open Plug-in Technology (以下OPT)は、シーケンサーなどの音楽用ソフトウェアからMIDI機器をコントロールするための新しいソフトウェアプラグインフォーマットです。たとえば、シンセサイザー、プラグインボードの音色エディターや、ミキサーをコントロールするエディターなどを、別々に起動させるのではなく、OPTに対応したアプリケーションの中で動作させることができます。アプリケーションごとにMIDIドライバーの設定などをする必要がなくなり、音楽制作をより快適でシームレスに行なう環境を実現します。

#### ●ホストアプリケーションのOPT対応レベル

OPT対応のホストアプリケーションは、以下の3つのレベルに分けられます。



**レベル1 (PANELS)のホストアプリケーション**では、プラグインソフトウェアの基本的な機能をサポートしており、代表的な例としては、コンピュータ上でプラグインソフト(エディターなど)のパネルを使って音色エディットができます。



**レベル2 (PROCESSORS)のホストアプリケーション**では、プラグインソフトウェアからMIDIデータを受信するなど、レベル1よりも一歩進んだエディットができます。プラグインソフトウェアの多くの機能をサポートしていますが、一部対応していない機能(イベント挿入など)があります。



**レベル3 (VIEWS)のホストアプリケーション**では、プラグインソフトウェアが持っているすべての機能が動作します。ヤマハのシーケンスソフトSOLやSQ01はOPTレベル3 (VIEWS)に対応しています。

## Voice Editor for MOTIF ES6/7/8動作表

Voice Editor for MOTIF ES6/7/8は、以下のように動作します。

ホストアプリケーション対応レベル	Voice Editor for MOTIF ES6/7/8の動作	
	動作可否	機能制限の内容
VIEWS (レベル3) 	動作する	なし
PROCESSORS (レベル2) 	動作する	なし
PANELS (レベル1) 	動作する	バルク受信に未対応

Voice Editor for MOTIF ES6/7/8はレベル2 (PROCESSORS)、レベル3 (VIEWS)のホストアプリケーションではすべての機能が動作します。レベル1 (PANELS)のホストアプリケーションではバルク受信ができません。

**NOTE** ホストアプリケーション側に対応する機能がない場合は、期待どおりに動作しない場合があります。対応レベルは、OPTのロゴで確認できます (ホストアプリケーションのバージョン情報などに表示されます)。

## Multi Part Editor for MOTIF ES6/7/8動作表

ホストアプリケーション対応レベル	Multi Part Editor for MOTIF ES6/7/8の動作	
	動作可否	機能制限
VIEWS (レベル3) 	動作する	なし
PROCESSORS (レベル2) 	動作する	なし
PANELS (レベル1) 	動作する	バルク受信に未対応

Multi Part Editor for MOTIF ES6/7/8はレベル2 (PROCESSORS)、レベル3 (VIEWS)のホストアプリケーションではすべての機能が動作します (ホストアプリケーションによっては、リモートコントロールが機能しません)。レベル1 (PANELS)のホストアプリケーションではバルク受信およびリモート操作ができません。

**NOTE** ホストアプリケーション側に対応する機能がない場合は、期待どおりに動作しない場合があります。対応レベルは、OPTのロゴで確認できます (ホストアプリケーションのバージョン情報などに表示されます)。

## ソフトウェアの動作環境

お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

- SQ01 V2**  
 OS : Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional  
 対応コンピューター : 500MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター (XPの場合は750MHz)  
 メモリ : 256MB以上  
 ハードディスク : 300MB以上の空きスペース  
 ディスプレイ : 1024×768ドット以上
- Voice Editor for MOTIF ES6/7/8**  
 OS : Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional  
 対応コンピューター : 166MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター  
 メモリ : 32MB以上  
 ハードディスク : 24MB以上の空きスペース  
 ディスプレイ : 800×600ドット以上 High Color (16bit) 以上
- Multi Part Editor for MOTIF ES6/7/8**  
 OS : Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional  
 対応コンピューター : 166MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター  
 メモリ : 32MB以上  
 ハードディスク : 32MB以上の空きスペース  
 ディスプレイ : 1024×768ドット以上 High Color (16bit) 以上
- TWE V2.4.4**  
 OS : Windows 95/98/Me/2000/NT/XP  
 対応コンピューター : 166MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター  
 メモリ : 24MB以上  
 ハードディスク : 平均アクセスタイム30ms以下  
 ディスプレイ : 800×600ドット以上 256色以上
- USB MIDI Driver**  
 OS : Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional  
 対応コンピューター : USB端子を装備した166MHz以上のIntel Pentium/Celeronファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター  
 メモリ : 32MB以上 (64MB以上推奨)  
 ハードディスク : 2MB以上の空きスペース

**NOTE** 上記の動作環境は、2003年6月時点のものです。各ソフトウェアの最新バージョン、および動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。  
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/index.html>

# ソフトウェアのインストール

## アンインストール(アプリケーションの削除)

次の方法でインストールしたソフトウェアを削除することができます。  
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[インストールと削除]で、削除したい項目を選択し、[追加と削除]をクリックします。  
ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

**NOTE** ご使用のOSによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

## Acrobat Readerのインストール

各アプリケーションに付属のPDFマニュアルをコンピューター上で見るために、あらかじめこのソフトウェアをインストールする必要があります。

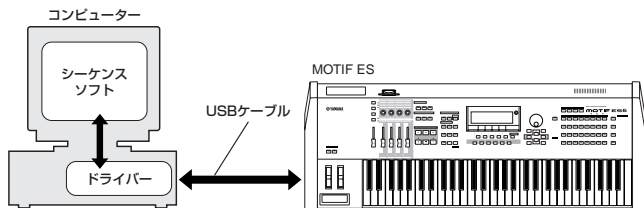
**NOTE** CD-ROMに搭載されているバージョン以前のAcrobat Readerがすでにコンピューターにインストールされている場合は、このバージョンをインストールする前に、前のバージョンのものをアンインストールしてください。

- 1 「Acroread」フォルダーをダブルクリックします。  
4種類の言語のフォルダーが表示されます。
- 2 「Japanese」フォルダーをダブルクリックします。  
「AcroReader\*\*JPN.exe」という実行ファイルが表示されます。
- 3 「AcroReader\*\*JPN.exe」をダブルクリックします。  
Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。
- 4 画面の指示に従ってインストールを実行します。

インストール後、コンピューター上(デフォルトではProgram Files)にAcrobatのフォルダーが追加されます。  
操作については[ヘルプ]メニューの[Readerのヘルプ]をご参照ください。

## USB MIDIドライバーのインストール

MOTIF ESをコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。  
USB-MIDIドライバーは、シーケンスソフトなどからUSBケーブルを通じて、MOTIF ESにMIDI信号を送信したり、逆にMOTIF ESからシーケンスソフトなどにMIDI信号を送信したりするためのソフトウェアです。



Windows 98/Meをお使いの場合 →4ページ

Windows 2000をお使いの場合 →4ページ

Windows XPをお使いの場合 →5ページ

お使いのCD-ROMドライブのドライブ名(D:、E:、Q: など)をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピュータ」の中のCD-ROMアイコンの下に表示されています。(CD-ROMドライブのルートディレクトリはそれぞれD:¥、E:¥、Q:¥、などになります。)

## Windows 98/Meへのインストール

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。
- 3 MOTIF ESの電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューター(またはUSBハブ)のUSB端子とMOTIF ESのUSB TO HOST端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMOTIF ESの電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます。

**NOTE** Windows Meをお使いの場合は、「適切なドライバーを自動的に検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて[次へ]をクリックします。ドライバーの検索とインストールが自動的に始まりますので、手順8へお進みください。ドライバーが検出されない場合は、「ドライバーの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、CD-ROMドライブの「USBDrv」フォルダーを指定してインストールしてください。

- 4 [次へ]をクリックします。  
検索方法を選択する画面が表示されます。
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。  
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 Windows 98の場合は、検索場所指定の左側にチェックを入れ、[参照]をクリックしたあと、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBDrv」ディレクトリ(D:¥USBDrv\_¥など)を直接指定します。  
Windows Meの場合は、「CD-ROMドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。[次へ]をクリックします。

**NOTE** Windows Meの場合、ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBDrv」ディレクトリ(D:¥USBDrv\_¥など)を指定してインストールを続行してください。

- 7 CD-ROMの中のドライバーを検出し、インストールの準備が終わると、ドライバーをインストールする準備ができた旨のメッセージが表示されます。「YAMAHA USB MIDI Driver」が表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。
- 8 インストールが終わると、インストールが終了した旨のメッセージが表示されます。  
[完了]をクリックします。

**NOTE** コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

## Windows 2000へのインストール

- 1 コンピューターを起動して、administrator権限のあるアカウントでWindows 2000にログインします。
- 2 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ファイルの署名の確認]で「無視-ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします。
- 3 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。
- 4 MOTIF ESの電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューター(またはUSBハブ)のUSB端子とMOTIF ESのUSB TO HOST端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMOTIF ESの電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に表示されます。[次へ]をクリックします。
- 5 「デバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。  
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 「CD-ROMドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。[次へ]をクリックします。

**NOTE** ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBDrv2k」ディレクトリ(D¥USBDrv2k\_¥など)を指定してインストールを続行してください。

- 7 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。  
[完了]をクリックします。

**NOTE** コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

- 8 コンピューターを再起動します。  
これで、ドライバーのインストールは完了しました。

## Windows XPへのインストール

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。  
コントロールパネルがカテゴリ表示のときは、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。すべてのコントロールパネルとアイコンが表示されます。
- 3 [システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ドライバー署名オプショ]で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします。
- 4 [OK]をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の「X」をクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- 5 CD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを挿入します。
- 6 MOTIF ESの電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューター(またはUSBハブ)のUSB端子とMOTIF ESのUSB TO HOST端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMOTIF ESの電源を入ると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が自動的に表示されます。
- 7 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。  
**NOTE** コンピューターによっては、この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- 8 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」と表示されます。[完了]をクリックします。  
**NOTE** コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- 9 コンピューターを再起動します。  
これで、ドライバーのインストールは完了しました。

## SQ01 V2のインストール

SQ01 V2では、MIDIシーケンサーとしての機能以外にオーディオミキサー、Voice Editor for MOTIF ES 6/7/8、Multi Part Editor for MOTIF ES 6/7/8や、波形編集ソフトTWEをプラグインソフトとして、一緒にインストールできます。

- 1 「SQ01」フォルダーをダブルクリックします。  
「Setup.exe」などのファイルが表示されます。
- 2 「Setup.exe」をダブルクリックします。  
SQ01のセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。

**NOTE** シリアル番号は、ユーザー登録カードに記載されておりますので、そちらをご参照ください。  
インストールが完了したら、コンピューターの再起動を選択します。再起動後、コンピューター上(デフォルトではProgram Files)にYAMAHAのフォルダーが追加され、その中にSQ01のフォルダーが生成されます。操作についてはオンラインヘルプをご参照ください。

### SQ01 V2 MIDI設定

- 1 [スタート]メニューをクリックして[プログラム]→[YAMAHA SQ01 Ver.2.0]→[SQ01]を選択すると、SQ01 V2が起動します。
- 2 SQ01の[設定]メニュー(トラックビューウィンドウ)から[MIDI]→[デバイス]を選択すると、MIDIダイアログのデバイス画面が表示されます。
- 3 USB接続したMOTIF ESを使うためには「出力」欄で、(たとえばポート1を使用する場合)「YAMAHA USB OUT 0-1」をクリックして選択状態(反転表示)にします。
- 4 同様に「入力」欄で、(たとえばポート1を使用する場合)「YAMAHA USB IN 0-1」を選択して、[OK]をクリックします。

**NOTE** SQ01の[設定]メニューから[オーディオ]→[デバイス]を選択すると、Audioダイアログのデバイス画面が表示されます。必要に応じて、オーディオドライバーやオーディオ入力/出力デバイスの設定をすることができます。

**NOTE** MOTIF ESとのUSB接続で送受信できるデータはMIDIデータのみです。オーディオデータは送受信しません。

## Voice Editor、Multi Part Editorのインストール

MOTIF ESとコンピューターを接続して、音色編集やミキシング編集などを行なうためのソフトウェアです。以下の手順で、2つのソフトウェアをインストールする事ができます。

- 1 CD-ROM内の「Tools」フォルダーをダブルクリックします。  
「VEMOTES\_」、「MEMOTES\_」フォルダーが表示されます。
- 2 「VEMOTES\_」フォルダーまたは「MEMOTES\_」フォルダーをダブルクリックします。  
「setup.exe」などのファイルが表示されます。
- 3 「setup.exe」をダブルクリックします。  
Voice EditorまたはMulti Part Editorのセットアップダイアログが表示されます。
- 4 画面の指示に従ってインストールを実行します。

操作についてはそれぞれのオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。

## TWEのインストール(単独でインストールする場合)

コンピューター上で波形編集ができるソフトウェアTWEは、SQ01のプラグインソフトウェアとしてSQ01のインストール時に一緒にインストールすることもできますが、単独でインストールする場合は下記手順に従ってください。

- 1 「Twe」フォルダーをダブルクリックします。
- 2 「Setup.exe」をダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。

操作についてはフォルダー内のオンラインマニュアルをご参照ください。

## MIDIポートの設定(単独で起動する場合)

Voice Editor/Multi Part EditorでMIDIポートを選択する前にMIDI Setup ツールバーでMIDIポートを設定する必要があります。

**NOTE** Voice EditorやMulti Part Editorを、Open Plug-in Technology (オープンプラグインテクノロジー)対応アプリケーションソフトのプラグインとして使う場合については、それぞれのオンラインマニュアルをご参照ください。

- 1 Voice EditorもしくはMulti Part Editorを起動してください。
- 2 以下のようなMIDI Setupツールバーが表示されますので、MIDI Setupボタンを押してください。



MIDI Setupボタン

- 3 MIDI Setupボタンを押すとMIDI Setupダイアログが表示されますので、実機MOTIF ESが接続されているMIDI In/Out/Thruの各ポートを設定してください。

**NOTE** Voice Editorまたは、Multi Part EditorにおいてMIDIポートを有効にするには、それぞれのアプリケーションの設定ダイアログでMIDIポートを選択する必要があります(上記のMIDI Setupダイアログで設定されたMIDIポートの中からどれを使用するかを選択になります)。設定方法の詳細はそれぞれのアプリケーションのオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。



# Macintoshユーザーの方へ

## CD-ROMの内容

CD-ROMには[Japanese]と[International]のフォルダーがあります。

日本語版をインストールしますので、[Japanese]フォルダーをダブルクリックして開きます。このフォルダーには、Macintosh用の日本語版アプリケーションとコンテンツデータが納められています。

### ■[Japanese]フォルダー

フォルダー名	ソフト名	説明
Acroread_	Acrobat Reader*	アプリケーションソフトのPDFマニュアルをコンピューター上で閲覧できるようにします。
OMS_	OMS	Open Music System (OMS) 2.3.3J*
	OMS Setup	OMS Setup for YAMAHA
USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver	MOTIF ES6/7/8とコンピューターをUSB接続するのに必要なドライバソフトです。
VEMOTES_	Voice Editor for MOTIF ES6/7/8	MOTIF ES6/7/8のボイスをコンピューター上でエディットすることができます。
Twe_	YAMAHA Wave Editor TWE 2.3	お持ちのコンピューターで波形データの編集ができる波形エディターです。
Nldemo_	ソフトシンセサイザーのデモ*	Native Instruments社のVSTプラグインソフトウェア音源のデモ版です。 「Nldemo」フォルダー内で、インストールしたいプラグインソフト名のついた実行ファイル(***)Demo Install/installer)をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

\*これらのソフトウェアは、ヤマハではサポートしません。

※上記ソフトウェアには、電子(オンライン/PDF)マニュアルが付いています。

## ソフトウェアの動作環境

お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

### □ Voice Editor for MOTIF ES6/7/8

OS : Mac OS 8.6以上Mac OS 9.22以下(Mac OS XおよびClassic環境は未対応)  
対応コンピューター : PowerPC以上を搭載したMacintoshコンピューター  
メモリ : 18MB以上の空きメモリ  
ハードディスク : 64MB以上(OMSを除く)  
ディスプレイ : 800×600ドット以上 32000色以上

### □ TWE V2.3

OS : Mac OS 7.6.1以上Mac OS 9.22以下(Mac OS XおよびClassic環境は未対応)  
対応コンピューター : PowerPC以上を搭載したMacintoshコンピューター  
メモリ : 空きメモリ8MB以上  
ハードディスク : 平均アクセスタイム30ms以下  
ディスプレイ : 640×400ドット以上 256色以上

### □ USB MIDI Driver

OS : Mac OS 8.6以上Mac OS 9.22以下(Mac OS XおよびClassic環境は未対応)  
対応コンピューター : USB端子を装備し、PowerPC以上を搭載したMacintoshコンピューター  
メモリ : 64MB以上(128MB以上推奨)

**NOTE** ただし、仮想メモリは「切」にしてください。

ハードディスク : 2MB以上の空きスペース  
その他 : OMS 2.3.3以上(同梱CD-ROMに付属)

**NOTE** 上記の動作環境は、2003年6月時点のものです。各ソフトウェアの最新バージョン、および動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。  
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/index.html>

# ソフトウェアのインストール

## Acrobat Readerのインストール

各アプリケーションに付属のPDFマニュアルをコンピューター上で見るために、あらかじめこのソフトウェアをインストールする必要があります。コンピューターにすでにAcrobatがインストールされている場合は再インストールする必要はありません。

- 1 「Japanese」フォルダー、「Acroread」フォルダーをダブルクリックします。  
「Acrobat Reader Installer」(インストーラー)が表示されます。
- 2 「Acrobat Reader Installer」をダブルクリックします。  
Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。  
インストールが完了したら、コンピューター上(デフォルトではハードディスク)に「Adobe Acrobat」フォルダーが追加されます。

操作については[ヘルプ]メニューの[Readerのヘルプ]をご参照ください。

## Open Music System (OMS) 2.3.3Jのインストール

Mac OS上で複数の音楽アプリケーション(MIDIデータ)を使用できるようにします。コンピューターにすでにOMSがインストールされている場合は再インストールする必要はありません。

- 1 「OMS」フォルダーをダブルクリックします。  
「Install OMS2.3.3J」(インストーラー)が表示されます。
- 2 「Install OMS2.3.3J」をダブルクリックします。  
OMSのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。  
インストールが完了したら、コンピューターの再起動を選択します。

**NOTE** インストール終了時に、以下の内容のメッセージが表示されることがあります。

「アプリケーションを終了することができませんでした。」  
このようなメッセージが表示された場合は、ファイルメニューから[終了]を選択してインストーラーを終了し、コンピューターを再起動してください。

再起動後、コンピューター上(デフォルトではハードディスク)に「Opcode」/「OMS アプリケーション」フォルダーが追加されます。

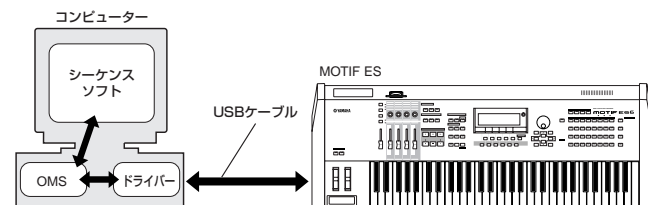
- 4 CD-ROM内の「OMS2.3J\_Manual.pdf」をドラッグ&ドロップで、「OMSアプリケーション」フォルダーにコピーします。

操作についてはこの「OMS2.3J\_Manual.pdf」をご参照ください。

- 5 CD-ROMの「OMS Setup for YAMAHA」フォルダーを「OMSアプリケーション」フォルダーにドラッグ&ドロップでコピーします。  
この「OMS Setup for YAMAHA」フォルダーには、MOTIF ES用のOMSセットアップファイルが入っています。お持ちの音源のセットアップファイルをテンプレートとしてご使用ください。

## USB-MIDIドライバーのインストール

MOTIF ESをコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。  
USB-MIDIドライバーは、シーケンスソフトなどからUSBケーブルを通じて、MOTIF ESにMIDI信号を送信したり、逆にMOTIF ESからシーケンスソフトなどにMIDI信号を送信したりするためのソフトウェアです。



USB-MIDIドライバーをインストールする前に、OMSがインストールされている必要があります。また、ドライバーインストール後に、OMSのセットアップ(上記)が必要になります。

## USB-MIDIドライバーのインストール

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
- 3 CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、「Japanese」フォルダー→「USBdrv」フォルダーの「Install USB Driver」のアイコンをダブルクリックします。  
インストール画面が起動します。



- 4 「Install Location」(インストール場所)というボックスに、インストール先が表示されます。インストールするディスクやフォルダーを変えたい場合は、[Switch Disk](ディスク切り替え)やプルダウンメニューを使い、インストール先を選択してください。

**NOTE** 通常は起動ディスクが自動的に表示されるので、インストール先を変更する必要はありません。

- 5 [Install](インストール)をクリックすると、「ソフトウェアインストール後、コンピューターを再起動する必要があります。[Continue]をクリックすると、すべてのアプリケーションが自動的に終了します。」という英語のメッセージが表示されます。[Continue]をクリックしてください。

**NOTE** インストールを中止したい場合は、[Cancel]をクリックしてください。

- 6 インストールが開始されます。ドライバーがすでにインストールされている場合、以下のようなメッセージが表示されます。手順3に戻る場合は[Continue]を、インストールを終了する場合は[Quit](終了)をクリックします。



- 7 インストールが終わると、「インストールは完了しました。コンピューターを再起動する必要があります。」という英語のメッセージが表示されますので、[Restart](再起動)をクリックしてください。自動的にコンピューターが再起動します。  
また、以下の場所にそれぞれのファイルがインストールされているのを確認することができます。

「システムフォルダー」:「コントロールパネル」:「YAMAHA USB MIDI Patch」

「システムフォルダー」:「機能拡張」:「USB YAMAHA MIDI Driver」

「システムフォルダー」:「OMS Folder」:「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」

## Voice Editorのインストール

MOTIF ESとコンピューターを接続して、音色編集などを行なうためのソフトウェアです。

- 1 CD-ROM内の「Japanese」フォルダーをダブルクリックします。「VEMOTES\_」フォルダーが表示されます。
- 2 「VEMOTES\_」フォルダーをダブルクリックします。「MOTIF ES Editorのインストール」が表示されます。
- 3 「MOTIF ES Editorのインストール」をダブルクリックします。Voice Editorのインストールダイアログが表示されます。画面の指示に従ってインストールを実行します。
- 4 インストール終了後、コンピューターを再起動します。

操作についてはオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。

## TWEのインストール

コンピューターで楽器の波形データをエディットすることができます。

- 1 「Japanese」フォルダーをダブルクリックします。
  - 2 「Twe」フォルダーをコンピューターのハードディスクにコピーします。
- 操作についてはフォルダー内のオンラインマニュアルをご参照ください。

## OMSのセットアップについて

CD-ROMの中には、MOTIF ES専用のOMSスタジオセットアップファイルが同梱されています。OMSのセットアップにはこのスタジオセットアップファイルを使用します。

**NOTE** 事前にOMSとUSB-MIDIドライバーをインストールしている必要があります(7ページ)。

- 1 USBケーブルを使用して、コンピューター(またはUSBハブ)のUSB端子と、MOTIF ESのUSB TO HOST端子を接続します。MOTIF ESの電源を入れ、電源LEDが点灯していることを確認します。
- 2 コンピューターを起動します。
- 3 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
- 4 CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、「Japanese」フォルダー→「OMS」フォルダー→「OMS Setup for YAMAHA」フォルダーの中にある、「MOTIF ES-USB」または「MOTIF ES-USB\_multi」スタジオセットアップファイルをハードディスクにコピーします。
- 5 「MOTIF ES-USB」または「MOTIF ES-USB\_multi」スタジオセットアップファイルをダブルクリックして、OMS Setupを起動します。スタジオセットアップファイルは、以下のように設定されています。必要に応じて使い分けてください。

### 「MOTIF ES-USB」

MOTIF ESを単独でUSB接続し、1ポート(MIDIチャンネル最大16ch)のみを使用する場合に使用します。

### 「MOTIF ES-USB\_multi」

MOTIF ESを複数台でUSB接続し、8ポート(MIDIチャンネル最大128ch)を使用する場合に使用します。ただし、MOTIF ES1台で使用できるのは最大3ポート(48ch)までとなります。

**NOTE** MOTIF ESを複数台使用するためには、USBハブなどUSB端子を拡張する機器が必要です。

**NOTE** USB接続でMOTIF ESのリモートコントロール機能を使う場合は、ポート3が使われますので、「MOTIF ES-USB\_multi」を選択してください。

- 6 OMS Setupが起動すると、先ほど立ち上げたスタジオセットアップファイルが開きます。タイトルバーに表示されたファイル名の先頭に「◇」が表示されていることを確認してください。



「MOTIF ES-USB\_multi」スタジオセットアップファイルの場合

**NOTE** 「◇」が表示されない場合には、「ファイル」メニュー→「セットアップを有効にする」を選択します。「◇」の表示を確認後、保存します。

これで、OMSのセットアップは完了です。

**NOTE** 上記のスタジオセットアップを行なった場合、MOTIF ESのみが認識されず、MOTIF ES以外の楽器をUSB接続する場合や、すでにOMSを使用していて新たにMOTIF ESをシステムに加える場合などは、独自のスタジオセットアップを作成する必要があります。詳しくは、付属の「OMS2.3J\_Manual.pdf」をご参照ください。

**NOTE** お使いのMacintoshやOSのバージョンによっては、上記の手順で操作しても同梱のMOTIF ES用スタジオセットアップファイルが動作しない場合があります。(セットアップが有効になっても、MIDIの送受信はできません。)この場合、MOTIF ESとMacintoshを接続した後、以下の手順でセットアップファイルを作りなおしてください。

- 1 OMS Setupを起動し、「ファイル」メニューより「新規セットアップ」を選びます。
- 2 OMSドライバー検索ダイアログが表示されますので、[Modem]および[Printer]のチェックを必ずはずして、[検索]ボタンをクリックし、デバイスの検索を行ないます。デバイスの検索に成功すると、OMSドライバー設定ダイアログでUSB-MIDIというデバイスが表示されます。
- 3 [OK]ボタンをクリックして、さらにポートを検索します。MOTIF ESの場合、Port 1、Port 2...などという名称になります。各ポートのチェックボックスをチェックしたのち、[OK]ボタンをクリックし、保存します。

OMSの使用方法についての詳細は、OMSに付属の「OMS2.3J\_Manual.pdf」をご参照ください。



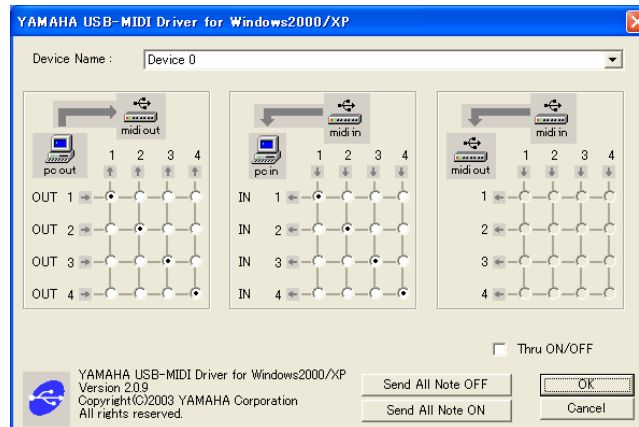
# USBドライバー設定画面について(Windows/Macintosh共通)

ここでは、コンピューター側のシーケンサーなどで選択されたポート番号と、MOTIF ESに実際に送られるポート番号などの関係を変更することができます(MOTIF ESの場合は初期状態から特に設定を変更する必要はありません)。Windowsでは[スタート]メニュー(→[設定])→[コントロールパネル]→[MIDI-USB-Driver]、Macintoshでは[アップル]メニュー→[コントロールパネル]→[YAMAHA USB MIDI Patch]を選択して、選択画面を開きます。ポート番号とMOTIF ESのMIDI入出力端子の関係は、以下のようになっています。また、初期設定では、コンピューター側と実際に入出力されるポート番号が一致しています。

**NOTE** もし、設定を変更してMIDI情報を送受信できなくなった時は、以下の初期状態に戻してください。

ポート番号	MIDI出力端子 (Thruポート番号*)	MIDI入力端子 (トラックポート番号)
ポート1	MIDI OUT 1	MIDI IN 1
ポート2	MIDI OUT 2	MIDI IN 2
ポート3	MIDI OUT 3	MIDI IN 3
ポート4	MIDI OUT 4	MIDI IN 4
ポート5	MIDI OUT 5	
ポート6	MIDI OUT 6	
ポート7	MIDI OUT 7	
ポート8	MIDI OUT 8	

\*MOTIF ESの[UTILITY]→[F5] MIDI→[SF4] OTHER画面にある「ThruPort」で設定した値と同じポート番号のMIDI信号が出力されます。



# 故障かな?と思ったら(Q&A)

## ●ドライバーがインストールできない

USBケーブルは正しく接続されていますか?  
USBケーブルの接続を確認してください(MOTIF ES6/MOTIF ES7/MOTIF ES8 取扱説明書)。  
一度USBケーブルを抜いて、再度挿入してください。

### 【Windowsの場合】

お使いのコンピューター側でUSBが使用可能になっていますか?

初めてMOTIF ESをコンピューターに接続した際、「新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード」(4ページ)が自動的に表示されないときは、コンピューター側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。

- 1 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」(Win98/Me)、または「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」(Win2000/XP)でデバイスマネージャを表示させます。
- 2 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USBルートハブ」などに「!」や「x」のマークがついていないことを確認してください。「USBルートハブ」などに「!」や「x」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。

不明なデバイスが登録されていませんか?

何らかの原因によりドライバーのインストールに失敗すると、MOTIF ESが「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。

- 1 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」(Win98/Me)、または「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」(Win2000/XP)でデバイスマネージャを表示させます。
- 2 「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。
- 3 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して[削除]をクリックします。
- 4 USBケーブルをMOTIF ESから抜いて、接続し直します。
- 5 以下、6ページの手順3以降(Win98/Me)、6ページの手順4以降(Win2000)、7ページの手順6以降(WinXP)に従って、ドライバーをインストールし直します。

## ●USB経由でコンピューターよりMOTIF ESを操作した場合、正常に動作しない、または音が鳴らない

ドライバーはインストールしましたか(Windows 4ページ、Macintosh 7ページ)?

USBケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか(MOTIF ES6/MOTIF ES7/MOTIF ES8 取扱説明書)?

音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか?

ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか?

ドライバーは最新のをインストールしましたか?  
巻末に記載されているヤマハホームページから最新のドライバーをダウンロードできます。

MOTIF ES本体のMIDIの入出力の設定がUSBになっていますか?  
UTILITY/MIDI/OTHERのMIDI IN/OUTをUSBに設定してください。

## ●演奏がもたつく

お使いのコンピューターは推奨環境を満たしていますか(Windows 3ページ、Macintosh 6ページ)?

他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか?

### 【Macintoshの場合】

仮想メモリを「切」にしてください。  
AppleTalkを「不使用」にしてください。

## ●正常にサスペンド、レジュームができない

MIDIアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか?

Windows 2000をお使いの場合、USBホストコントローラなどの環境によって、サスペンド/レジュームできない場合があります。(その場合でも、USBケーブルを接続し直すと、MOTIF ESは正常に動作します。)

## ●ドライバーの削除、再インストールがしたい

### 【Windows Me/98の場合】

- 1 MOTIF ESが正しく認識されている状態で、「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2 「デバイスマネージャ」のタブをクリックし、「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し、削除します。
- 3 MS-DOSプロンプトまたはエクスプローラを操作して、以下の3つのファイルを削除します。  
**NOTE** ただし、エクスプローラを操作して削除する場合は、エクスプローラの「ツール(表示)」メニューから「フォルダーオプション」を選択して、「すべてのファイル(とフォルダー)を表示する」に設定しておいてください。
  - %WINDOWS%\INF\OTHER\YAMAHAMOTIF6~8.INF
  - %WINDOWS%\SYSTEM\Xgusb.drv
  - %WINDOWS%\SYSTEM\Ymidusb.sys
- 4 USBケーブルを抜きます。
- 5 コンピューターを再起動します。
- 6 4ページのドライバーのインストールに従って、再インストールします。

### 【Macintoshの場合】

- 1 以下の場所にインストールされているファイルをそれぞれ削除します。  
「システムフォルダー」:「コントロールパネル」:「YAMAHA USB MIDI Patch」  
「システムフォルダー」:「機能拡張」:「USB YAMAHA MIDI Driver」  
「システムフォルダー」:「OMS Folder」:「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」
- 2 コンピューターを再起動します。
- 3 ドライバーのインストール(7ページ)およびOMSのセットアップ(8ページ)をもう一度行ないます。

# 付属アプリケーションソフトウェアのユーザーサポートサービス

## ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方をサポートし、関連情報をご提供するために、アプリケーションソフトウェア(含む付属アプリケーションソフトウェア)をご購入いただいたお客様を登録させていただいております。  
つきましては、お手数とは存じますが、製品に同梱しております「ユーザー登録カード」に(シリアルNo.ラベルを貼り付け)必要事項をご記入の上、至急ご返送くださいますようお願い申し上げます。弊社にてお客様の登録を行ない、折り返しユーザーID番号をご案内いたします(ユーザーID番号は、アプリケーションソフトをインストールする際に入力する番号とは異なります)。このユーザーID番号は弊社が以下のサポートをさせていただきます際に必要な番号ですので、大切に保管してください。

## ユーザーサポートサービスのご案内

サービスの種類によっては、CD-ROMディスク(以下ディスクと呼びます)の返送が必要になりますが、その際お送りいただいたディスクが弊社製品と確認できない場合、修復のサービスはお受けになれません。あらかじめご了承ください。

[ユーザー登録手続き]を完了された方に限り、以下のサポートを行なわせていただきます。

### 無償サポートサービスについて

#### 1. ご購入時に正常に動作しないディスクの修復

製品には万全を期しておりますが、万一ディスクに記録されたプログラムなどの内容が、ご購入時にすでに破壊や欠損を起こしていたために正常に動作しない場合、ディスクの内容を修復(交換またはフロッピーによる修復)いたします。下記の「ディスク修復のお申し込み方法」に従ってお申し込みください。

- 「ご購入時」とは製品をお求めいただいてから14日以内とさせていただきます。
- お送りになる前に、お送りいただく旨を、必ず下記の「CBXインフォメーションセンター」まで電話でご連絡ください。

#### ディスク修復のお申し込み方法

- ① 修復に必要なディスクのほか、「ユーザー登録用カード」に必要事項(ご住所、お名前、電話番号)をご記入の上、「動作の状態」などを明記した文書をご同封ください。宛先は下記の「CBXインフォメーションセンター」です。
- ② 返送の途中でディスクが破損しないように十分注意して包装してください(返送の途中でディスクが破損または紛失した場合、弊社では責任を負いかねます)。
- ③ ご返送には、郵便書留か宅配便をご利用ください(宅配便の場合は、着払[弊社負担]をご利用いただけます)。

#### 2. SQ01に関する質問の受付

「ユーザー登録手続き」を完了された方に限り、使用方法や関連情報などについて、電話やお手紙による質問をお受けいたします。下記の「CBXインフォメーションセンター」までお問い合わせください。  
お問い合わせの際には、「製品名」、「ユーザーID番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」を必ずご明示ください。また、「ご使用のパソコンの種類」、「操作の手順やそれによる結果と状態」、「入力されたデータの内容」なども詳しくお知らせください。お客様からの情報が不足している場合は、ご返事できない場合があります。

#### CBXインフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1  
ヤマハ(株)CBXインフォメーションセンター  
TEL: 053-460-1667

- 受付日月～金曜日(祝祭日およびセンターの休業日を除く)
- 受付時間10:00～12:00/13:00～17:00
- \* ユーザーサポートサービスは日本国内においてのみ有効です。

### 有償サポートサービスについて

#### 1. 有償サポートサービスの内容

お客様が使用中にこのディスクを破損された場合、有償でディスクの内容を購入時と同等に修復(交換またはフロッピーによる修復)いたします。必要事項をご記入の上、手数料(¥5,000:消費税込み)と破損したディスクを添え「有償サポートサービスのお申し込み方法」に従ってお申し込みください。

- 有償サポートサービスの受付期間は、お客様が本製品をご購入後、一年以内とさせていただきます。
- お申し込みになる前に、必ずCBXインフォメーションセンターまで電話でご連絡ください。
- ユーザー登録が完了されているお客様へのサービスです。

#### 2. 有償サポートサービスのお申し込み方法

CBXインフォメーションセンター宛に直接お申し込みください。このサービスは、お買い上げの販売店では、受け付けておりません。

- ① 下記の有償サポートサービスの[申込書]に必要事項をもなくご記入の上、手数料とともに、CBXインフォメーションセンターまで現金書留にてお送りください。

\*お客様からのCBXインフォメーションセンターへの送料は、お客様にてご負担ください。

- ② ディスクを送付される場合は、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「ユーザーID番号」を明記して、CBXインフォメーションセンターまで、郵便書留にてお送りください。なお、郵送の途中でディスクが破損しないように、十分注意して包装してください。

\*普通郵便などでお送りなられた際の事故につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

\*必ずご登録いただいた「ご住所」、「お名前」でお申し込みください。

\*お申し込みいただきましたディスク(または修復データを収録したフロッピー)は、手数料の確認の後、登録されたご住所に発送いたします。お申し込み後、2週間経ても製品が届かない場合は、CBXインフォメーションセンターまでご連絡ください。

ディスクの紛失につきましては再発行はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

#### <破損ディスクの修復申し込み>

有償サポートサービスの「破損ディスクの修復」の申し込みをされる場合は、下の申込書をコピーしてご使用ください。

#### TOOLS for MOTIF ES6/MOTIF ES7/MOTIF ES8 : 破損CD-ROM修復申込書

ご住所	〒□□□-□□□□ フリガナ	都道府県	市区郡
	(マンション等の名称も必ずご記入ください。)		
お名前	フリガナ	ユーザーID番号	
電話	市外局番 ( )	-	

#### 破損ディスク「TOOLS for MOTIF ES6/MOTIF ES7/MOTIF ES8」CD-ROM

破損ディスクの修復の手料は¥5,000(消費税込み)です。  
ユーザーID番号も必ずご記入ください。

#### 住所/氏名の変更(同一使用者の範囲内)

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」などを変更された場合は、「製品名」、「ユーザーID番号」、「旧住所/旧氏名」、「新住所/新氏名」を明示の上、ご面倒でもCBXインフォメーションセンターまで郵便でご通知ください。折り返し手続き完了のご連絡をさせていただきます。

## ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。ディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに（14日以内に）ご返却ください（ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません）。

## ソフトウェア使用許諾契約

### 1. 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル（以下「許諾プログラム」といいます）を、お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

### 2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

### 3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

### 4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

### 5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別な損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

### 6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付属のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であると問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別な損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

### 7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。

## ■ 商品に関するお問い合わせ窓口

### 商品本体(およびSQ01 V2以外のソフトウェア)に関するお問い合わせ窓口

ヤマハデジタルインフォメーションセンター  
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1  
TEL (053) 460-1666

### 付属ソフトウェア「SQ01 V2」に関するお問い合わせ窓口

CBXインフォメーションセンター  
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1  
TEL (053) 460-1667

## ■ 営業窓口

PA・DMI事業部  
PE営業部 MP営業課  
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1  
TEL (053) 460-2432

EM営業統括部  
企画推進室  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11  
TEL (03) 5488-5430

### EM営業統括部 各地区お問い合わせ先

EM北海道  
〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50 (ヤマハセンター)  
TEL (011) 512-6113

EM仙台  
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10  
TEL (022) 222-6147

EM東京  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11  
TEL (03) 5488-5471

EM名古屋  
〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28  
TEL (052) 201-5199

EM大阪  
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 (心斎橋プラザビル東館)  
TEL (06) 6252-5231

EM九州  
〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472-2130

●ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ  
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

●ヤマハマニュアルライブラリー  
<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

●「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」  
ミュージックイークラブ・ドットコム  
<http://www.music-eclub.com/>

●よくあるご質問(Q&A/FAQ)  
<http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。



この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書はエコリブ(ECF: 無塩素系漂白パルプ)を使用しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

M.D.G., PA・DMI Division, Yamaha Corporation  
© 2003 Yamaha Corporation  
Printed in Japan

WB18020 308MWAP-5.2-02B0